VineLinux3.2/php4_to_php5

PHPバージョンアップ作業(PHP4.X -> PHP5.X) (1)

- PHPのバージョンアップ(1)
- Squirrelmailが真っ白! (1)
- PukiWikiが正しく表示されない(2)
- PHPのアクセラレータをインストール (2)
- 参考サイト (4)

PHPバージョンアップ作業(PHP4.X -> PHP5.X)

PHPを、PHP4(4.4)からPHP5(5.2)へバージョンアップ。Vineのバージョンアップに備えての作業。

PHPのバージョンアップ

1. まずは、PHP4関係のパッケージを削除。

apt-get remove php php-apache php-pear ...

2. 次に、PHP5関係のパッケージをインストール。結果的には、ほぼ全部。

apt-get install php5 php5-apache2 php5-pear ...

3. 参考サイトを見て、PHPの設定をする。

vim /etc/php5/php.ini

4. Vineのデフォルト状態に、次の設定を追加。

```
session.bug_compat_warn = 0 ; Moodle用の設定
upload_max_filesize = 4M ; アップロードの上限を4MBに
error_reporting = E_ALL & ~E_NOTICE ; 通知以外のすべてのエラーを報告
```

5. 設定を有効にするため、Apacheを再起動。

service apache2 restart

6. これで上手くいくはずだったのに、現実は厳しかった(涙)

Squirrelmailが真っ白!

1. あらかじめ、参考サイトを見て、PHP5用に<squirrelmail_root>/functions/imap_general.phpを修正。

修正前:fputs (\$imap_stream, sqimap_session_id() . " APPEND \ "\$sent_folder \ " (\ \ Seen) \ {\$length} \ r \ n"); 修正後:fputs (\$imap_stream, sqimap_session_id() . " APPEND \ "\$sent_folder \ " (\ \ Seen) {".\$length."} \ r \ n");

- 2. ところが、Squirrelmailにアクセスすると、画面が真っ白...文字コードの問題かと思って、PHPの設定を変えてもダメ。
- 3. Apacheのログを調べてみると、Squirrelmailで使っている、「bayesspam」という追加プラグインで、DBクラス(DB.phpで定義)が使えていない状態。PEARインストールしているのに...
- 4. よーく調べてみると、php5-pearにはDB.phpがない状態。仕方ないので、インストール。

pear install DB

5. ようやく使える状態になりました。

PukiWikiが正しく表示されない

1. 今度は、自分のPukiWikiサイトの表示がおかしい。

- メニューが大部分表示されない(編集とアクセスの記録だけ表示)
- •コンテンツ部分が大部分表示されない(日本語部分がダメな感じ)
- 2. 文字コードの問題かと思って、PHPの設定を変えてもダメ。PukiWikiのスキンファイルの文字コードや、他のファイルの文字コードをチェックしてもダメ。泣きそうな気分で、いろいろ情報を調べたけどダメ(涙)
- 3. PukiWikiの公式サイトなどを見ると、どうもPukiWikiのキャッシュ(<wiki_root>/cacheディレクトリ)があやしい。キャッシュを、配布状態にしてみると、正しく表示されるようになった。
 - # mv cache cache.bak
 - # cp -a <orig_pukiwiki>/cache .
- 4. 数時間たって確認すると、やっぱりダメ。なんじゃこりゃ...
- 5. 原因判明、これだよこれ。文書数の増加による、cache/autolink.dat内の正規表現のパターンの 増大化が原因
 - http://pukiwiki.sourceforge.jp/dev/?BugTrack2%2F81
- 6. Autolink機能をオフに

PHPのアクセラレータをインストール

- 1. eAcceleratorを採用。
 - http://www.eaccelerator.net/
- 2. 最新版をダウンロード(インストール時点では、0.9.5) 3. ダウンロードしたファイルを展開し、展開先のディレクトリへ

```
4. インストール作業
```

```
# /usr/bin/phpize
# ./configure --enable-eaccelerator=shared --with-php-config=/usr/bin/php-
config
# make
# make
# make install
```

5. 設定変更用のWebインターフェースを設置

mv control.php <適当なディレクトリ>
vi <適当なディレクトリ>/control.php

6. 該当行を変更して、アクセスできるユーザとそのパスワードを変更

\$user = "admin"; \$pw = "eAccelerator";

7. キャッシュディレクトリの作成

mkdir /tmp/eaccelerator
chown apache:apache /tmp/eaccelerator

8. PHPの設定を変更

vi /etc/php5/php.ini

9. [Zend Optimizer]オプションより前に記述

```
[eAccelerator]
zend_extension = "/usr/lib/php5/eaccelerator.so"
eaccelerator.shm_size = "16"
eaccelerator.cache_dir = "/tmp/eaccelerator"
eaccelerator.allowed_admin_path = "<適当なディレクトリ>/control.php"
eaccelerator.enable = "1"
eaccelerator.optimizer = "1"
eaccelerator.check mtime = "1"
eaccelerator.debug = "0"
eaccelerator.filter = ""
eaccelerator.shm max = "0"
eaccelerator.shm_ttl = "0"
eaccelerator.shm prune period = "0"
eaccelerator.shm only = "0"
eaccelerator.compress = "1"
eaccelerator.compress level = "9"
eaccelerator.keys = "shm_and_disk"
eaccelerator.sessions = "shm_and_disk"
eaccelerator.content = "shm and disk"
```

10. Apacheの再起動

service apache2 restart

11. おお、結構はやくなった!

参考サイト

- http://vine.1-max.net/
- http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/linux/
- http://zapanet.info/blog/item/863/catid/17